

知覧

中

中福良小学校 校歌

作詞 高城俊男  
作曲 武田恵喜秀

福

一、朝日に匂う  
牧神の  
緑の丘を  
仰ぎつつ  
きょうも明るく  
元氣よく  
学ぼうと  
わたしたち  
小学 小学  
中福良

二、永里川の  
せせらぎに  
心とからだ  
きたえつつ  
みんな仲よく  
手をとって  
励まそう  
わたしたち  
小学 小学  
中福良

三、開闢とおく  
よぶところ  
歴史は香る  
ふるさとに  
望み大きく  
たくましく  
伸びるほく  
わたしたち  
小学 小学  
中福良

良

中福良未来づくり10年計画書

南九州市 中福良地区公民館



## 情報発信

- 地区内の空き家情報の収集及びSNS等で発信
- 移住者等への空き家活用の支援



## 交流

- バーベキュー大会や体験型などの異世代交流イベントの実施
- 共有の話題を持てる映画上映会の実施
- 大人食堂を設立し人が集まる場の設置
- 地区内外の人達への農作物収穫体験の実施
- 若者交流会の実施



## 支え合い

- ちよこつとボランティアによる互助の実施
- 愛護作業ができなくなった自治会の地区有志による作業実施



## 学びの場

- 歴史や社会見学など子供から大人まで知識を得られる講座の実施
- 誰でもいつでも見られるよう伝統行事などの記録保存の実施



## 心癒やされる景観

- 耕作放棄地への景観作物の植栽
- 道路沿いへの花の植栽



## 情報発信

- 地区内の空き家情報の収集及びSNS等で発信
- 移住者等への空き家活用の支援



## 交流

- バーベキュー大会や体験型などの異世代交流イベントの実施
- 共有の話題を持てる映画上映会の実施
- 大人食堂を設立し人が集まる場の設置
- 地区内外の人達への農作物収穫体験の実施
- 若者交流会の実施



## 支え合い

- ちょこっとボランティアによる互助の実施
- 愛護作業ができなくなった自治会の地区有志による作業実施



## 学びの場

- 歴史や社会見学など子供から大人まで知識を得られる講座の実施
- 誰でもいつでも見られるよう伝統行事などの記録保存の実施



## 心癒やされる景観

- 耕作放棄地への景観作物の植栽
- 道路沿いへの花の植栽



私たちの住む中福良は、  
私たちが楽しみながら、創り、守っていこう



# 未来へ 広がる 中福良の 輪

光に輝く景観や

人々の  
笑顔が  
あふれ

土と作物の

馥郁たる  
香りに  
あふれ

人々の声や鳥のさえずり、せせらぎ、農業機械の発する  
心地よい音にあふれた中福良



## 働く場

- 地区内への企業の誘致
- 地区内企業へ優先就職紹介や斡旋の実施
- 空き家のリフォームの地区内技術者への委託



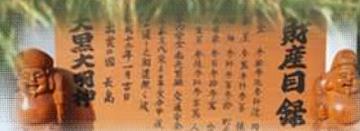
## 特産品・農業

- 手のかからない作物(キウイ、グアバ、イチジク、ザクロ等)の栽培による特産品の開発
- 新しく作りやすい農作物の料理レシピの紹介
- 軽トラ市での農作販売



## 伝承・継承

- ホタル保存会の設立
- カセダウチ保存会の設立  
(各種メディアによる地域の宣伝、教職員の歓迎会などでの実施)
- 牧神ドンの環境整備の実施と活用策の検討



## ニューシステム

- 新築祝い金制度の創設
- 田畑のオーナー制度の実施
- 自治会合併の検討



## 経緯

中福良地区は、南九州市知覧町のほぼ中央部に位置しており、13自治会が東西6キロ、南北3キロの範囲に点在し、中には限界集落※に達している自治会もあります。

知っていましたか？今から約50年前の昭和47年の中福良地区には、548世帯1,903人の人口があり、約40年前の昭和56年の中福良小学校には127人の児童がいました。そして、住民一人一人が地域を守っていきこうと道路愛護作業や河川草払いなどの公民館活動に一生懸命取り組んでいました。

令和5年4月現在の地区世帯数は401世帯と10年前に比べて96世帯（20%）減少し、地区人口も727人と10年前に比べて329人（30%）減少しており、65歳以上の割合も10年前の42.5%から54.8%と高齢化率が非常に高くなっています。

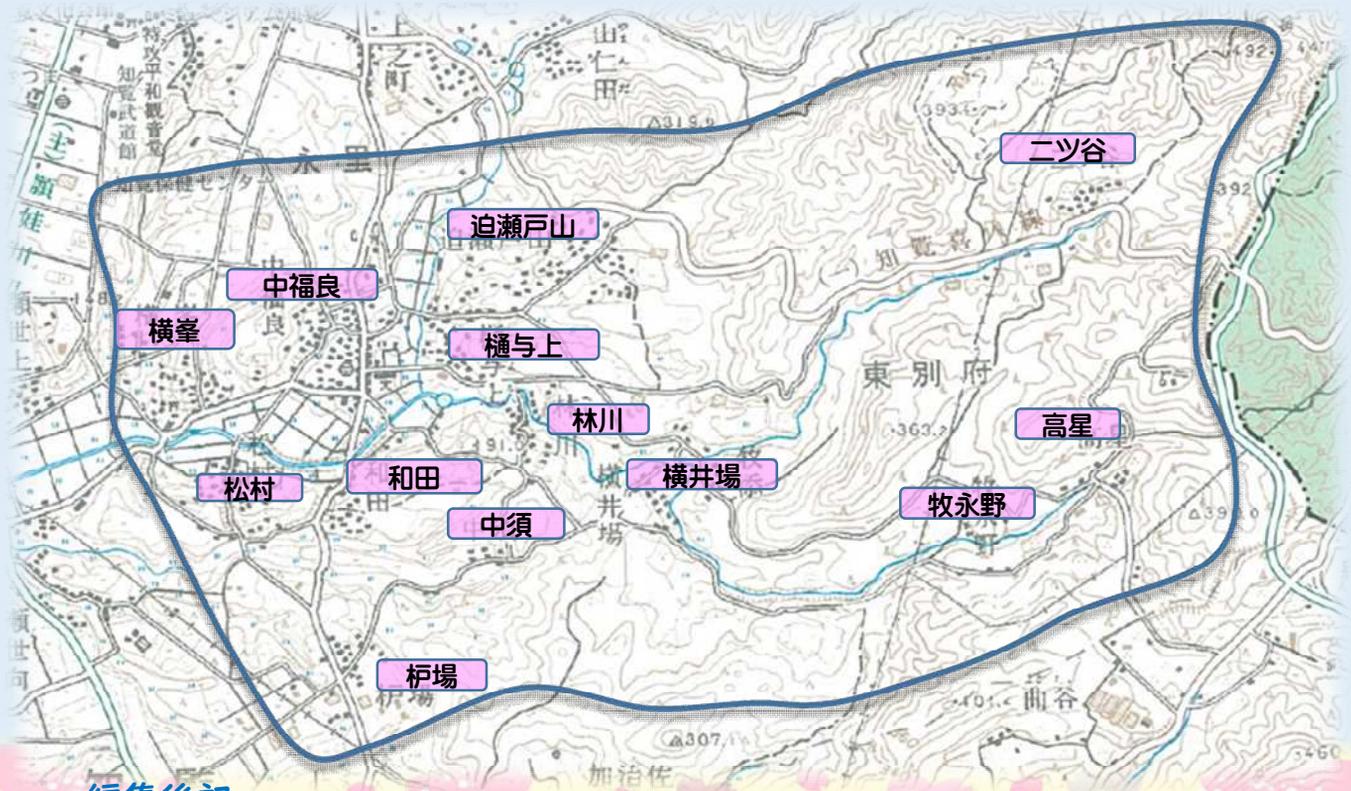
地区の中心には創立146年の中福良小学校がありますが、令和5年度の児童数は21名で、10年前に比べて10名、20年前と比べると38名減少しており、子供たちの元気な声も昔ほどは聞こえなくなっています。

また、地区内にはこれまで郵便局や病院、JA南さつま知覧支所、Aコープ永里店等もあり、ある程度生活環境は整っていましたが、JA南さつま知覧支所の業務縮小・統合やAコープ永里店の廃止方針、さらには浮辺小学校の霜出小学校への統合や松ヶ浦小学校の霜出小学校への統合要望などの影響により、中福良小学校の存続にも黄信号が灯っている状況でもあります。

このままでは、中福良地区にとって負の連鎖がますます拍車をかけることになりかねません。そこで、令和5年7月20日に中福良地区未来づくり委員会を立ち上げ、幅広い年代の男女から様々な意見を聞きながら、「自分たちの故郷は、自分たちで楽しみながら創り守っていく」ことを目的に幾度となく話し合いを積み重ねてきました。

地区は、今後ますます人口減少や高齢化は進むことが予想されますが、10年後も20年後も活力ある中福良地区でありつづけるために、課題解決のアイデアをこの計画書にまとめました。すべての取り組みをいっぺんに行うことは難しいので、まずは出来ることから始めていきたいと思っています。

※限界集落とは、地域人口の50%以上が65歳以上の集落のことです。



### 編集後記

ここに地域の皆様のおかげをもちまして、中福良未来づくり10年計画書が完成しました。協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

この計画書には、皆様が日頃から思っていることや感じていることを、はっきりと文字にして表しています。何れも中福良に暮らす皆様が、いかに楽しく暮らしやすくなるためにはどうしたら良いのかが記されています。

今すぐ実現するものでもありませんが、地区内に暮らす方々が本音で語り合い、笑顔で言葉を掛け合い、また歴史を振り返り、未来を思いながら語りあうことで、その先に何かが、幸せが、喜びがあるはずと信じています。

今後はこの計画書を参考に地域を盛り上げたく活動していきたいと思いますので、引き続き地域の皆様方のご協力をよろしく願います。

令和6年3月吉日

中福良地区公民館長 松清健一

## 中福良 未来づくり10年計画書 (第1期:2024~2033)

編集:中福良地区未来づくり委員会

協力:南九州市まちづくり推進課

発行:中福良地区公民館 2024年3月

〒897-0303 鹿児島県南九州市知覧町永里5677番地1

Tel & Fax 0993-84-0994

Eメール nakafukura-kouku@po2.synapse.ne.jp